

# 五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト 【位置図・ロードマップほか】

# 五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～地域をみずからまもる、水害に強い地域づくりのためのハード・ソフト対策の推進～

○ 令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、九州有数の流域面積を有し、下流部に位置する流域最大都市である延岡市にて、北川・祝子川といった支川が集中合流するという流域特性を持つ五ヶ瀬川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、国管理区間においては、平成5年8月洪水と同規模の洪水を安全に流し、それを上回る戦後最大の平成17年9月洪水と同規模の洪水に対して堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。



**■被害対象を減少させるための対策**

- ・土地の嵩上げ
- ・重要施設の移転
- ・霞堤の保全等

※今後、関係機関と連携し対策検討



**■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**

- ・洪水浸水想定区域図の策定・公表
- ・ハザードマップの作成
- ・水害リスク・ハザードマップの周知
- ・実効性を高める訓練、研修会の実施
- ・避難確保計画、個別避難計画、避難訓練
- ・避難所及び避難路の整備
- ・多機関連携型タイムラインの運用
- ・情報伝達・情報共有・情報提供
- ・防災意識の醸成
- ・リスク共有(重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認、農業用ため池マップの公表)
- ・インフラ機能回復(流入物撤去の際の費用補助)
- ・避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤整備等

※今後、関係機関と連携し対策検討

**■グリーンインフラの取り組み** 詳細次ページ

(熊本県)

- ・重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認

(高森町)

- ・避難所及び避難路の整備

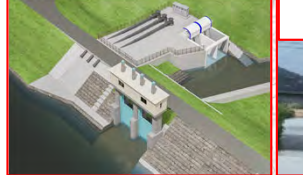
(山都町)

- ・重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認
- ・避難所及び避難路の整備
- ・農業用ため池マップの公表

(日之影町)

- ・多機関連携型タイムラインの運用
- ・重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認
- ・避難所及び避難路の整備

雨水ポンプ場整備(延岡市)



(高千穂町・五ヶ瀬町)

- ・多機関連携型タイムラインの運用
- ・重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認
- ・避難所及び避難路の整備
- ・農業用ため池マップの公表

(延岡市)

- ・多機関連携型タイムラインの運用
- ・重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認
- ・避難所及び避難路の整備
- ・農業用ため池マップの公表
- ・インフラ機能回復(流入物撤去の際の費用補助)

(宮崎県)

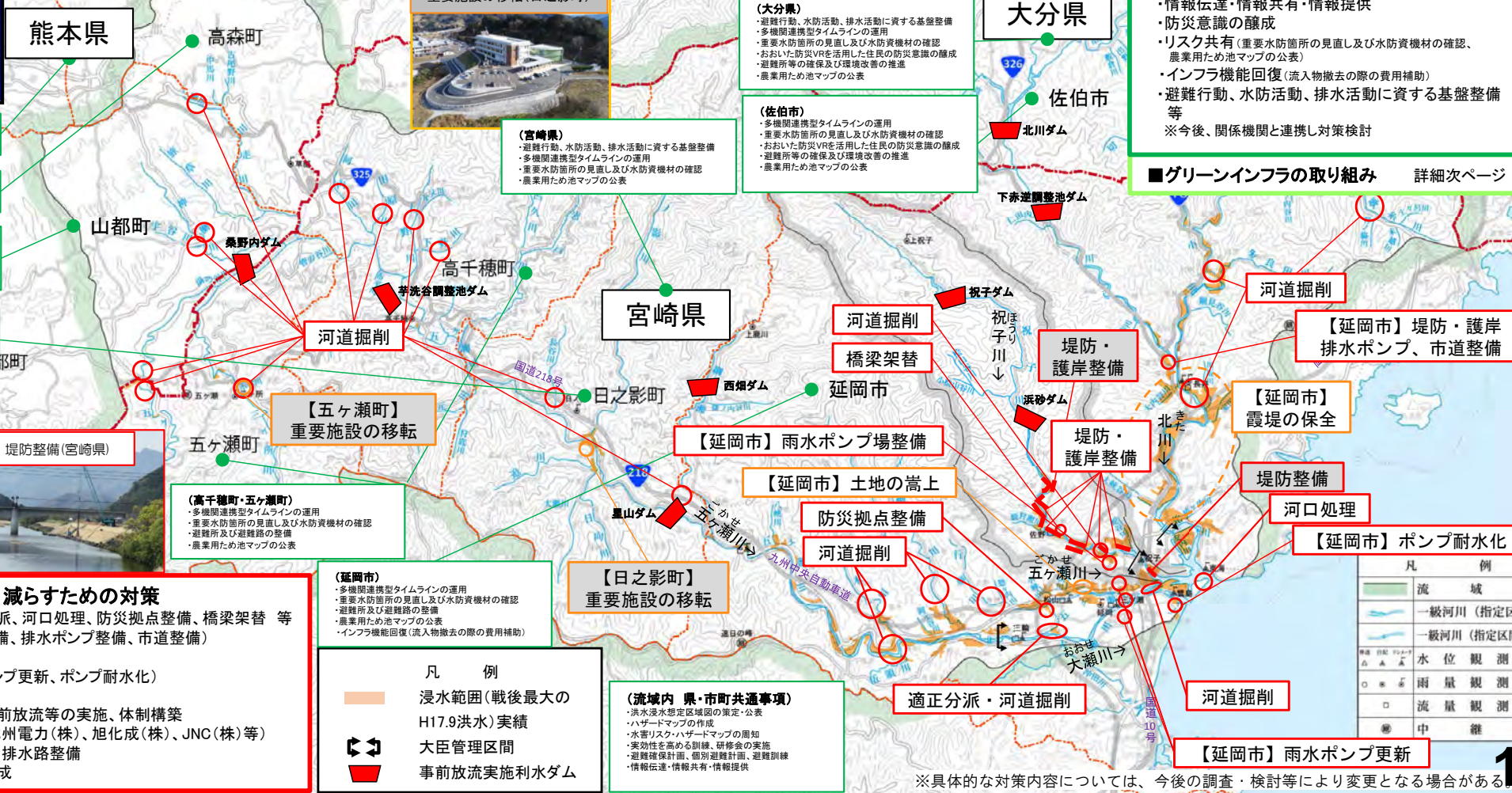
- ・避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤整備
- ・多機関連携型タイムラインの運用
- ・重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認
- ・避難所等の確保及び環境改善の推進
- ・農業用ため池マップの公表

(大分県)

- ・避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤整備
- ・多機関連携型タイムラインの運用
- ・重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認
- ・おおい防災VRを活用した住民の防災意識の醸成
- ・避難所等の確保及び環境改善の推進
- ・農業用ため池マップの公表

(佐伯市)

- ・多機関連携型タイムラインの運用
- ・重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認
- ・おおい防災VRを活用した住民の防災意識の醸成
- ・避難所等の確保及び環境改善の推進
- ・農業用ため池マップの公表



**■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策**

- ・堤防整備、河道掘削、適正分派、河口処理、防災拠点整備、橋梁架替等
- ・浸水被害対策(堤防・護岸整備、排水ポンプ整備、市道整備)
- ・下水道等の排水施設の整備(雨水ポンプ場整備、雨水ポンプ更新、ポンプ耐水化)
- ・砂防堰堤の整備
- ・利水ダム等8ダムにおける事前放流等の実施、体制構築(関係者:宮崎県、大分県、九州電力(株)、旭化成(株)、JNC(株)等)
- ・水田の雨水貯留機能強化・用排水路整備
- ・森林の保全・整備、水源林造成

**凡 例**

- 浸水範囲(戦後最大のH17.9洪水)実績
- 大臣管理区間
- 事前放流実施利水ダム

**(流域内 県・市町共通事項)**

- ・洪水浸水想定区域図の策定・公表
- ・ハザードマップの作成
- ・水害リスク・ハザードマップの周知
- ・実効性を高める訓練、研修会の実施
- ・避難確保計画、個別避難計画、避難訓練
- ・情報伝達・情報共有・情報提供

凡 例	
	流域界
	一級河川(指定区間)
	一級河川(指定区間外)
	水位観測所
	雨量観測所
	流量観測所
	中継所

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

# 五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～地域をみずからまもる、水害に強い地域づくりのためのハード・ソフト対策の推進～

五ヶ瀬川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

- 【短期】五ヶ瀬川下流域において、適正分派及びそれに付随する河道掘削を実施するとともに祝子川における堤防整備並びに防災ステーション整備の進捗を図る。また、県管理区間においても河道掘削、祝子川における堤防整備・河道掘削、砂防堰堤の整備を進めるほか、内水氾濫対策としてポンプ場の改築・耐水化等を実施するとともに多機関連携タイムラインの運用、水害リスク空白域の解消、防災VRを活用した住民の防災意識の醸成を図る等、流域内の被害軽減を目指す。
- 【中期】適正分派に関わる築堤、河道掘削及び防災ステーション整備を実施する。  
また、祝子川の築堤・護岸、河道掘削、橋梁掛け替え、ポンプ場整備を実施する。
- 【中長期】適正分派に関わる築堤、河道掘削及び河口処理を実施し、流域内の治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	実施内容	実施主体	工程		
				短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	五ヶ瀬川・大瀬川 適正分派事業	国土交通省	堤防整備	堤防整備	堤防・護岸整備、掘削
		天下地区河川防災ステーション整備事業	国土交通省	基盤整備	基盤整備・付帯施設	防災ステーション整備事業完了
		五ヶ瀬川 上流部 河道掘削	宮崎県・熊本県	県区間河道掘削	五ヶ瀬川上流部河道掘削完了 県区間完了	直轄区間完了
		五ヶ瀬川 下流部 河道掘削	国土交通省・宮崎県	河道掘削	河道掘削	県区間堤防・護岸整備、河道掘削、橋梁掛替完了
	内水氾濫対策	祝子川 堤防・護岸整備、河道掘削、橋梁掛替	国土交通省・宮崎県	堤防・護岸整備、河道掘削、橋梁掛替	直轄区間堤防整備完了	
		曾立地区浸水被害対策事業（堤防・護岸、排水ポンプ、市道整備）	延岡市	堤防・護岸、排水ポンプ、市道整備	浸水被害対策完了	富美山地区完了
		ポンプ場建設、改築、耐水化	延岡市	ポンプ場の整備・更新・耐水化	ポンプ場整備	
	土砂災害対策	砂防堰堤の整備	宮崎県	砂防堰堤の整備	紺屋町、須崎町、中島町、砂田地区完了	
	流域の雨水貯留機能の向上	流水の貯留機能の拡大	利水ダム等8ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	宮崎県・大分県・宮崎県企業局・大分県企業局・旭化成株式会社・九州電力株式会社・JNC株式会社等	利水ダム等8ダムにおける事前放流等の実施、体制構築	
		水田の雨水貯留機能強化、用排水路整備	宮崎県・大分県	ため地の整備、棚田の維持保全、用排水路整備		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まいの工夫	土地の嵩上げ（岡富古川土地区画整理事業）	延岡市	岡富古川地区	区画整理事業完了	
		重要施設の移転（五ヶ瀬町役場）	五ヶ瀬町	五ヶ瀬町役場移転	役場移転完了	
		重要施設の移転（日之影町役場）	日之影町	日之影町役場移転	役場移転完了	
	浸水範囲の限定・氾濫水の制御	霞堤の保全（堆積土砂・流木等の撤去費補助）	延岡市	継続的な霞堤の保全		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水害リスク空白域の解消	洪水浸水想定区域図の策定・公表	流域内 国・県	浸水想定区域図作成・公表		
		ハザードマップの作成	国土交通省 流域内 県・市・町	ハザードマップ作成支援		
	ハザードマップの周知及び住民の水害リスクに対する理解促進の取組	水害リスク・ハザードマップの周知	国土交通省 流域内 県・市・町	水害リスクマップの作成、マイハザードマップの作成・周知、ハザードマップ作成支援		
		実効性を高める訓練、研修会の実施	国土交通省 流域内 県・市・町	自主防災組織や地域などでの防災講話や防災訓練等、地域防災計画等の作成支援		
	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進と避難の実効性確保	避難確保計画、個別避難計画、避難訓練	国土交通省 流域内 県・市・町	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進、避難の実効性確保、避難訓練		
		避難所及び避難路の整備	延岡市・佐伯市・高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町・山都町・高森町	多目的トイレの設置、段差解消		
	その他	多機関連携型タイムラインの運用	国土交通省・宮崎県・延岡市・高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町・他関係機関等	多機関連携型タイムラインの運用		
		情報伝達・情報共有・情報提供	国土交通省 流域内 県・市・町	防災情報伝達体制の構築（防災ラジオの整備、公式LINE・防災アプリ等の周知）		
		防災意識の醸成	国土交通省 流域内 県・市・町	防災啓発動画、防災VRなど		
		リスク共有（重要水防箇所の見直し）	国土交通省・宮崎県・延岡市	重要水防箇所の見直し及び水防資機材の確認		
リスク共有（農業用ため池マップの公表）		宮崎県・熊本県・大分県・延岡市・佐伯市・高千穂町・五ヶ瀬町・山都町・高森町	農業用ため池マップの公表			
インフラ機能回復（流入物撤去の際の費用補助）		延岡市	流入物撤去の際の費用補助			
避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤整備		国土交通省 流域内 県・市・町	洪水予測や水位情報の提供の強化			
グリーンインフラの取組	五ヶ瀬川かわまちづくり	散策路整備、高水敷整正、護岸整備等	国土交通省	散策路整備、高水敷整正、護岸整備等		
	神代川かわまちづくり	護岸・河床整備、管理用通路整備、植栽整備等	宮崎県・高千穂町	護岸・河床整備、管理用通路整備、植栽整備等		
	多自然川づくり	河道掘削	国土交通省・県	河道掘削		

気候変動を踏まえた  
更なる対策を推進

■事業規模  
 ・河川対策（約164億円）  
 ・砂防対策（約90億円）  
 ・下水道対策（約20億円）

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

# 五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～ぬくもりと躍動感が感じられる水辺空間の創出～

## ●グリーンインフラの取り組み『ぬくもりと躍動感が感じられる水辺空間の創出』

○五ヶ瀬川の上流部は、「高千穂峡」に代表される五ヶ瀬川峡谷として、国の名勝及び天然記念物に指定されており、下流部は「水郷のべおか」と言われる地域固有の歴史文化資源を活かし、水量豊かな大瀬川に百間・三須・安賀多といったアユの産卵場を有しており、流域内の河川には北川湿原などの貴重な自然環境を有する湿地があり、五ヶ瀬川水系を次世代に引き継ぐ必要があります。

○第6次延岡市長期総合計画では主要観光施設利用者数を現状値(R1)の114.1万人からR7までに136万人に増加(119%)することを目標としており、五ヶ瀬川を観光拠点及び日常的な交流拠点として整備し、地域活性化を図ることを目的とした、五ヶ瀬川かわまちづくりを今後10年間で進め、また上流側の高千穂町では、中心市街を流れる神代川のかまちづくりを進め、地域の環境と景観の再生を行うとともに、神話や歴史などの数多くの文化資源を生かすなど、地域の賑わいと観光振興を図り、五ヶ瀬川の自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取り組みを推進する。



- 治水対策における多自然川づくり
    - ・コアマモ、河畔林、ワンド等の保全
    - ・瀬・淵の形態及び河畔林等の保全
  - 魅力ある水辺空間・賑わい創出
    - ・五ヶ瀬川かわまちづくり
    - ・神代川かわまちづくり
  - 自然環境が有する多様な機能活用の取組
    - ・小中学生や任意団体等による環境学習
    - ・景勝地の活用
  - 自然環境の保全・復元などの自然再生
    - ・湿地等貴重な自然環境の保全
- 五ヶ瀬川かわまちづくり



【全域に係る取組】

- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携支援
- ・水田の活用(田んぼダム)、ため池の活用等による多様な生態系の保全

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合があります

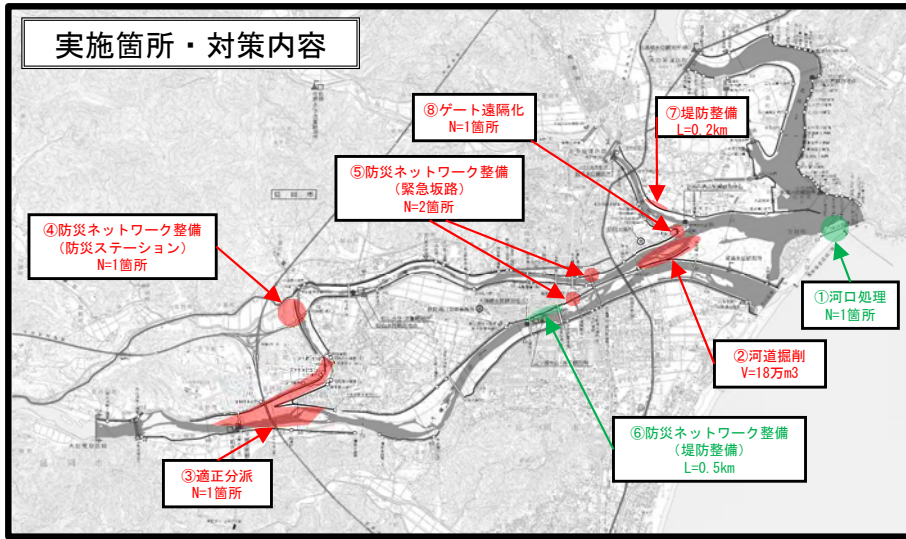
# 五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト【事業効果(国直轄区間)の見える化】

～地域をみずからまもる、水害に強い地域づくりのためのハード・ソフト対策の推進～

○五ヶ瀬川流域における災害時の拠点となる防災ステーションが概成することで、洪水被害の軽減・早期復旧及び大規模災害等にも対応できる広域支援が可能となる。

○祝子川における堤防の拡幅(直轄区間)が完了し、平成9年9月規模の洪水でも安全に流下させることが可能。

## 短期整備(5ヶ年加速化対策)効果: 河川整備率 集計中

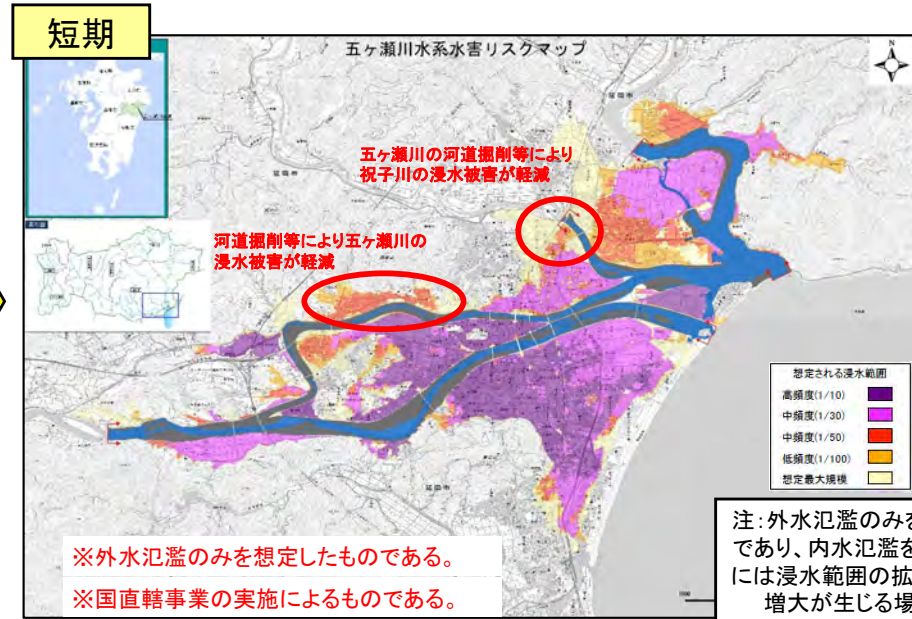
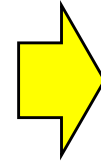
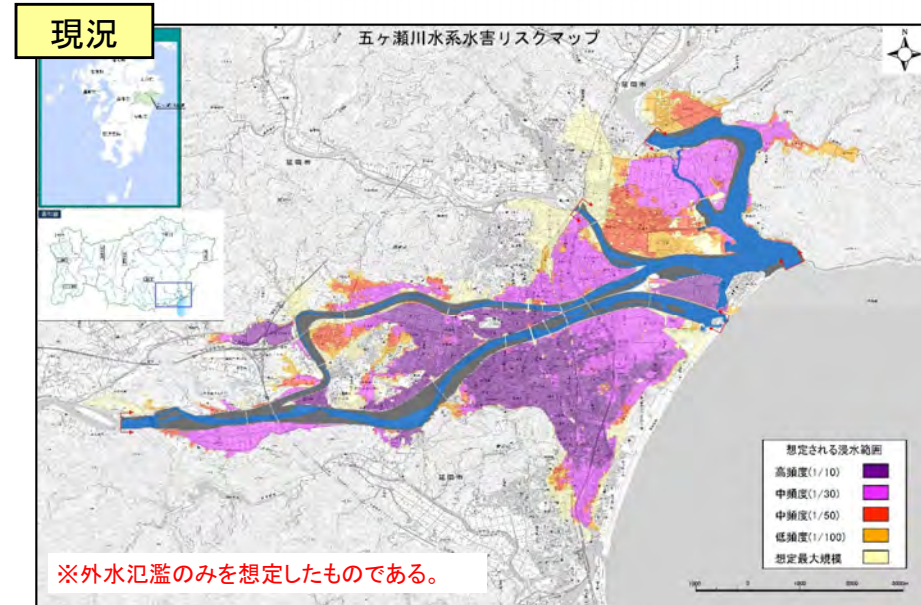


対策内容	区間	工程	
		【5ヶ年加速化対策】 短期(R3~R7年度)	中長期(R8~R13年度)
①河川処理 0%→100%	五ヶ瀬川 下流地区	R3	100% (概ね1/20~1/30)
②河道掘削 25%→100%	五ヶ瀬川 昭和町地区	100% (概ね1/20~1/30)	
③地震・津波対策(陸間遠隔化)	五ヶ瀬川 昭和町地区	100%	
④防災ネットワーク整備(緊急坂路)	五ヶ瀬川 昭和町・須崎町地区	100%	
⑤防災ネットワーク整備(防災ステーション)	五ヶ瀬川 天下地区	100%	
⑥適正分派 0%→100%	五ヶ瀬川 天下地区	58%	100% (概ね1/20~1/30)
⑦防災ネットワーク整備(堤防整備)	大瀬川 川中地区		100%
⑧堤防整備 0%→100%	祝子川 粟野名地区	100% (概ね1/20~1/30)	

### 【短期整備完了時の進捗】

- ②河道掘削  
25%→100%
- ③地震・津波対策(陸間遠隔化)  
0%→100%
- ④防災ネットワーク整備(緊急坂路)  
0%→100%
- ⑤防災ネットワーク整備(防災ステーション)  
0%→100%
- ⑥適正分派  
0%→58%
- ⑧堤防整備  
0%→100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



注: 外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。 4

# 五ヶ瀬川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～地域をみずからまもる、水害に強い地域づくりのためのハード・ソフト対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した  
河川の整備率



整備率  
集計中

農地・農業用施設の活用



集計中

流出抑制対策の実施



集計中

山地の保水機能向上・  
土砂・流木対策



集計中

立地適正化計画における  
防災指針の作成



集計中

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定  
集計中

内水浸水想定  
集計中

高齢者等避難の  
実効性の確保



避難確保計画  
集計中

個別避難計画  
集計中

## 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



五ヶ瀬川【防災拠点整備】

【国】適正分派事業に必要な事業用地協議を  
図るとともに、天下地区河川防災ステーション整  
備完了にむけ、地盤改良・基盤整備などを実施



北川【樹木伐採による流下能力向上】

【宮崎県】祝子川では、堤防整備や護岸工事を  
図るとともに、五ヶ瀬川や北川など樹木繁茂箇所  
などで樹木伐採・河道掘削などの対策工を実施

## 被害対象を減少させるための対策



日之影町役場（令和3年5月6日 開庁）

○日之影町役場の移転  
（浸水リスクのある五ヶ瀬川沿いから高台へ）



五ヶ瀬町役場（令和3年9月28日 開庁）

○五ヶ瀬町役場の移転  
（災害対策室及び町長室等を1Fから2Fに）

## 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策



学校や地区などの防災講話・避難訓練  
（R3. 7. 17 大貫下区防災講話）参加者 29名

地域に対する地区防災計画の作成支援  
（R3. 11. 14、R3. 12. 5 富美山北区）  
参加者 55名



災害ボランティアリーダー養成講座  
（R3. 6. 27 主催：延岡市社会福祉協議会）  
参加者 37名

【宮崎県主催】要配慮者利用施設避難計画作成  
支援講習会（R3. 11. 15 オンラインにて実施）

○【延岡市】防災講話：83回 2,231人  
避難訓練：45回 4,537人（R3. 12末時点）



スマホ実践

○【延岡市】マイハザードマップ、マイタイム  
ライン作成、スマートフォンによる防災情報入  
手方法の確認（R3. 10. 26）